

企画演題プログラム

第1日目 2024年7月20日(土)

第1会場(4F マリンホール)

理事長講演 10:15～10:40

座長：山田 成樹(藤田医科大学病院 薬剤部)

CL 日本医薬品安全性学会の発展と今後の展開

佐藤 光利(明治薬科大学 薬学部 医薬品安全性学研究室)

特別講演1 10:50～11:50

座長：外山 聡(新潟大学医歯学総合病院 薬剤部)

SL1 伝言

ーヒューマニズムから医薬品安全性確保の意義と進化へ

宇野 勝次(アインファーマシーズ 運営研修部)

特別講演2 13:40～14:40

座長：外山 聡(新潟大学医歯学総合病院 薬剤部)

SL2 薬疹の病態と治療

阿部 理一郎(新潟大学 医学研究科 皮膚科)

教育講演 14:45～15:45

座長：外山 聡(新潟大学医歯学総合病院 薬剤部)

EL 薬剤性肺障害の診断と治療

藤森 勝也(JA 新潟厚生連あがの市民病院)

シンポジウム1 16:40～18:40

オーガナイザー：近藤 悠希（熊本大学大学院 生命科学研究部 薬物治療設計学分野（臨床薬理学））

和泉 智（医療法人仁真会 白鷺病院 医療技術部）

座長：和泉 智（医療法人仁真会 白鷺病院 医療技術部）

井上 智博（医療法人あかね会 土谷総合病院 薬剤部）

CKD 患者に対する医薬品安全性

S1-1 薬物動態から考える CKD 患者の医薬品安全性

辻本 雅之 京都薬科大学 臨床薬学分野

S1-2 腎機能を守り透析導入を防ぐ triple therapy

平田 純生 I&H 株式会社 学術研究部

S1-3 薬剤性腎障害を防ぐ

浦田 元樹 社会医療法人寿楽会 大野記念病院

S1-4 CKD 患者のハイリスク薬とその使い方

古久保 拓 医療法人仁真会 白鷺病院 薬剤科

S1-5 外来・保険薬局における腎機能低下患者の医薬品安全性を考える

近藤 悠希 熊本大学大学院 生命科学研究部 薬物治療設計学分野（臨床薬理学）

第2会場(3F 中会議室 301)

シンポジウム2 10:15～12:15

オーガナイザー：高柳 和伸（倉敷中央病院 薬剤部）

座長：高柳 和伸（倉敷中央病院 薬剤部）

菅野 洋（中外製薬株式会社）

安全性監視

～もう一度見直す医薬品リスク管理計画（RMP）～

S2-1 RMP と製薬企業の取り組み

— Patient centric safety のために —

菅野 洋 中外製薬株式会社

S2-2 ちょっとしたアイデアで意識が変わる！ RMP 活用事例の紹介

於本 崇志 岩手医科大学附属病院 薬剤部

S2-3 病院内の医薬品安全性監視と RMP の活用

小林 宏太郎 倉敷中央病院

S2-4 保険薬局における RMP の活用事例と今後の展望

鈴木 大希 株式会社アインファーマシーズ アイン薬局 台原店

シンポジウム3 13:40～15:40

オーガナイザー：前田 頼伸（福山大学薬学部 薬剤情報解析学研究室）

山崎 美保（総合せき損センター 薬剤部）

座長：山崎 美保（総合せき損センター 薬剤部）

上村 忠聖（けいゆう病院 薬剤部）

〈ポリファーマシー検討・対策部会〉

どうする？ポリファーマシー

—その薬必要ですか？—

S3-1 ポリファーマシー対策の進め方 ～様々な視点からの介入で切り開く～

武藤 浩司 新潟市民病院 薬剤部

S3-2 私はこうした！ポリファーマシー —持参薬の見直しを行った事例—

神原 弘恵 尾道市立市民病院 薬剤部

S3-3 私はこうした！ポリファーマシー —処方カスケードによりハイパーポリファーマシーになった事例—

柳下 博信 秋田大学医学部附属病院 薬剤部

S3-4 私はこうした！ポリファーマシー —患者さんの訴え、体調変化から介入できた事例—

杉本 陵 ウエルシア薬局

オーガナイザー：杉山 奈津子(国際医療福祉大学 薬学部)

座長：小茂田 昌代(医療法人徳洲会 千葉西総合病院 薬剤部)

出雲 貴文(医療法人徳洲会 千葉西総合病院 薬剤部)

〈医薬品副作用情報部会〉

带状疱疹治療の処方提案をいかにするか!?

S4-1 带状疱疹治療薬の副作用報告について考える

岸 達生 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

S4-2 带状疱疹の管理に関する欧州のコンセンサスに基づくガイドライン2017

頓宮 美樹 株式会社 la vita

S4-3 アメナメビルの注意点を審査報告書から探る

宗像 千恵 国際医療福祉大学 福岡薬学部

S4-4 本邦における带状疱疹治療薬の薬理学的特性

中谷 善彦 国際医療福祉大学 薬学部 薬物治療学分野

S4-5 带状疱疹治療薬アカデミック・ディテリング資材の開発

杉山 奈津子 国際医療福祉大学 薬学部

第3会場(3F 中会議室302)

オーガナイザー：尾上 誠良(静岡県立大学 薬学部 薬剤学分野)

花輪 剛久(東京理科大学 薬学部 医療デザイン学・臨床製剤設計学)

座長：尾上 誠良(静岡県立大学 薬学部 薬剤学分野)

花輪 剛久(東京理科大学 薬学部 医療デザイン学・臨床製剤設計学)

安全な薬物療法を実現する臨床製剤学のチカラ

S5-1 Clinical question に応える新しい製剤開発

尾上 誠良 静岡県立大学 薬学部 薬剤学分野

S5-2 医薬品安全性向上を目指した製剤化研究

世戸 孝樹 岐阜医療科学大学 薬学部

- S5-3** 安全な臨床製剤をどう創るか？
—医療機関、調剤薬局、大学間の新たな連携の提案—
花輪 剛久 東京理科大学 薬学部 医療デザイン学・臨床製剤設計学
- S5-4** 臨床的課題解決に導く製剤アプローチ
内田 淳 山梨大学医学部附属病院 薬剤部
- S5-5** 経口投与困難患者の降圧管理
小林 賢滋 大崎病院東京ハートセンター

シンポジウム6 13:40～15:40

オーガナイザー：薄井 健介(東北医科薬科大学 薬学部 病院薬剤学教室、東北医科薬科大学病院 薬剤部)
座長：三輪 高市(鈴鹿医療科学大学大学院 薬学研究科・薬学部)
鈴木 映二(東北医科薬科大学 医学部 精神科学教室)

〈精神神経疾患領域部会〉

**精神科の薬物治療をブラックボックスにしないために、
向精神薬の副作用への理解を深めてみませんか？**

- S6-1** 注意すべき向精神薬の副作用とその安全管理
～薬剤師の視点から～
中村 友喜 三重県立こころの医療センター
- S6-2** 薬剤師にとって重要な睡眠薬の副作用
薄井 健介 東北医科薬科大学 薬学部 病院薬剤学教室、
東北医科薬科大学病院 薬剤部
- S6-3** 薬剤師にとって重要な抗うつ薬の副作用
(うつ病患者さんへの接し方も含めて)
和田 智仁 社会医療法人居仁会 総合心療センターひなが 診療技術部薬剤課
- S6-4** 精神科用薬の重篤な副作用を予防するために
鈴木 映二 東北医科薬科大学 医学部 精神科学教室

オーガナイザー：小林 賢滋(大崎病院東京ハートセンター 薬剤部)

座長：小林 賢滋(大崎病院東京ハートセンター 薬剤部)

大口 顕(クリエーティブカミヤ株式会社 カミヤ健康薬局)

循環器用薬の安全管理

S7-1 循環器領域(抗血栓薬)の医薬品安全性 ～循環器病棟薬剤師の立場から～

安 泰成 公益財団法人 心臓血管研究所付属病院

S7-2 循環器領域(心不全用薬)の医薬品安全性 ～循環器病棟薬剤師の立場から～

古野 喬志 医療法人社団空と大地 大崎病院東京ハートセンター

S7-3 一般病棟における循環器領域の医薬品安全性は薬剤師が守る！

林 太祐 日本医科大学多摩永山病院

S7-4 循環器用薬を安全に使用するための患者情報の収集への取り組み ～外来患者と在宅患者～

大口 顕 クリエーティブカミヤ株式会社 カミヤ健康薬局

第4会場(2F 中会議室201A)

スポンサード教育講演 14:45～15:45

座長：青柳 和代(新潟県立がんセンター新潟病院 薬剤部)

SEL 病院薬剤師による医療の質向上と医薬品安全管理 ～適切な疼痛コントロールを目指して～

池田 龍二(宮崎大学医学部附属病院 薬剤部)

共催：第一三共株式会社

ワークショップ1 10:15～12:15

WS1 医薬品有害事例の臨床解析スキルを身に付ける
～医薬品安全性学の実践～

オーガナイザー：齊藤 幹央(新潟薬科大学薬学部 臨床薬学教育研究センター)

ファシリテーター：齊藤 幹央(新潟薬科大学薬学部 臨床薬学教育研究センター)

チューター：神原 弘恵(尾道市立市民病院 薬剤部)

木村 聡子(東庄町国民健康保険 東庄病院)

八木 元広(脳神経センター阿賀野病院 薬剤科)

ワークショップ2 13:40～15:40

WS2 帯状疱疹患者の重篤副作用にいち早く気付くための実践演習
～こんな時、薬剤師としてあなたはどのようにする？～

オーガナイザー：古野 喬志(大崎病院東京ハートセンター 薬剤部)

杉山 奈津子(国際医療福祉大学 薬学部)

ファシリテーター：小茂田 昌代(医療法人徳洲会千葉西総合病院 薬剤部)

出雲 貴文(医療法人徳洲会千葉西総合病院 薬剤部)

岸 達生(独立行政法人医薬品医療機器総合機構 総務部)

木村 聡子(東庄町国民健康保険 東庄病院)

鈴木 邦彦(つなぐ薬局柏)

頓宮 美樹(株式会社 la vita)

長澤 宏之(医療法人社団誠馨会 セコムメディック病院 薬剤部)

宗像 千恵(国際医療福祉大学 福岡薬学部)

森崎 隆博(医療法人徳洲会 千葉西総合病院 薬剤部)

第2日目 2024年7月21日(日)

第1会場(4F マリンホール)

シンポジウム8 10:00~12:00

オーガナイザー：宇野 勝次(アインファーマシーズ)
古川 智康(医療法人社団健進会 新津医療センター病院 薬剤部)
座長：宇野 勝次(アインファーマシーズ)
古川 智康(医療法人社団健進会 新津医療センター病院 薬剤部)

医薬品過敏性副作用の現況の理解を深めるために！

- S8-1** 薬剤性ショックにおける最近の動向
古川 智康 医療法人社団健進会 新津医療センター病院 薬剤部
- S8-2** 免疫関連有害事象(irAE)の解説と当院での取り組み
古舘 晶弘 東邦大学医療センター佐倉病院 薬剤部
- S8-3** 薬剤性臓器(肝・肺)障害の最近の動向
大瀧 翔太 医療法人社団健進会 新津医療センター病院 薬剤部
- S8-4** 保険薬局における医薬品過敏性副作用への取り組み
関口 知行 アイン薬局 新大前店
- S8-5** アナフィラキシーや薬物過敏の既往がある COVID-19 ワクチン接種の安全性について
五十嵐 隆夫 いからし小児科アレルギークリニック

シンポジウム9 13:30~15:30

オーガナイザー：前田 頼伸(福山大学 薬学部 薬剤情報解析学研究室)
北市 清幸(岐阜薬科大学 薬物動態学研究室)
座長：前田 頼伸(福山大学 薬学部 薬剤情報解析学研究室)
北市 清幸(岐阜薬科大学 薬物動態学研究室)

代謝障害性副作用を回避するための戦略

- S9-1** 代謝障害性副作用総論
北市 清幸 岐阜薬科大学 薬物動態学研究室
- S9-2** 病棟業務で経験した代謝障害性副作用の原因究明
前田 頼伸 福山大学 薬学部 薬剤情報解析学研究室

S9-3 薬物相互作用を発現した症例から考える医薬品の安全使用

百 賢二 昭和大学 統括薬剤部／薬学部 病院薬剤学

S9-4 炎症性腸疾患領域における代謝障害性副作用

中島 章雄 福岡大学 薬学部 病院薬学、
福岡大学筑紫病院 薬剤部

第2会場(3F 中会議室 301)

シンポジウム 10 10:00～12:00

オーガナイザー：高島 啓輔（河北総合病院 薬剤部）

座長：高島 啓輔（河北総合病院 薬剤部）

桂 英之（国民健康保険 小松市民病院）

〈デジタル化・AI 利活用検討部会〉

薬剤師関連業務におけるデジタル AI 利活用の現状

S10-1 日本医薬品安全性学会所属会員を対象とした業務のデジタル化 または AI 導入に関する実態調査

岩西 雄大 大阪母子医療センター

S10-2 処方箋入力領域における AI 活用の可能性についての検討

松田 悠希 東京大学大学院 工学系研究科

S10-3 DX・ビッグデータを活用した臨床業務・研究・教育の実践

座間味 義人 岡山大学病院 薬剤部

S10-4 薬局における DX について

市ノ渡 真史 株式会社アインホールディングス 医療連携学術部 専門薬局推進課

S10-5 新入生に対する生成系 AI 利用の指導、実態、将来

富永 大介 明治薬科大学 薬学教育研究センター

オーガナイザー：菅 裕亮（株式会社なの花北海道なの花薬局 若草店、
株式会社メディカルシステムネットワーク 学術部）

座長：植沢 芳広（明治薬科大学 医療分子解析学研究室）

菅 裕亮（株式会社なの花北海道なの花薬局 若草店、
株式会社メディカルシステムネットワーク 学術部）

〈副作用データベース解析部会〉

副作用についてもう一步踏み込んで考える

ー現場でもできる副作用データベース分析ー

S11-1 学会発表で症例報告を行う際の副作用データベースの活用例 ～研究者目線の活用方法と留意点を教えて下さい～

佐古 守人 医療法人橘会 東住吉森本病院

S11-2 副作用データベース研究初めの一步 ーえっ、Excelで!?ー

田中 博之 東邦大学 薬学部 実践医療薬学研究室

S11-3 副作用データベースを用いた研究実施・解釈における留意点

酒井 隆全 名城大学 薬学部 医薬品情報学研究室

第3会場(3F 中会議室302)

オーガナイザー：齊藤 幹央（新潟薬科大学薬学部 臨床薬学教育研究センター）

吉田 真（中外製薬株式会社 医薬安全性本部 医薬安全性推進部）

座長：土井 啓員（東邦大学医療センター佐倉病院 薬剤部）

山崎 美保（総合せき損センター 薬剤部）

医薬品安全性指導者（DSD）／医薬品安全性専門薬剤師（DSSP）／ 医薬品安全性情報スペシャリスト（CDSIS）として 医療に貢献するために

S12-1 臨床現場で病院薬剤師が副作用を評価する重要性 ～早期発見のその先へ～

佐古 守人 医療法人橘会 東住吉森本病院

S12-2 保険薬局における副作用の臨床解析の重要性 ～DSSPの視点から～

池尻 靖之 株式会社あさひ調剤 はなまる薬局 新座店

S12-3 医薬品安全性関連事例報告（回避事例・有害事例）での疑似体験を通し、
気づき力・解決力を高めよう！

木村 聡子 東庄町国民健康保険 東庄病院

S12-4 大学での教育と研究を通じた薬剤師が実践する副作用マネジメントへの貢献

田坂 祐一 就実大学 薬学部 臨床薬学研究室

S12-5 医薬品安全性情報スペシャリスト(CDSIS)として
製薬企業のあるべき安全性活動

菅野 洋 中外製薬株式会社

一般演題プログラム

第1日目 2024年7月20日(土)

ポスター会場(3F ホワイエ)

ポスター示説 15:40~16:40

- P-1** バンコマイシンによる好中球減少がみられたものの
周術期再投与が可能であった症例
篠田 康孝 大垣市民病院 薬剤部
- P-2** ヨード造影剤によるアナフィラキシーショックの既往患者に対し
前投薬を行いCAG/PCIが施行可能となった1例
持田 知志 新潟医療生活協同組合木戸病院 薬剤部
- P-3** セフォペラゾンによる薬剤熱の検討
翁長 寛人 新津医療センター病院 薬剤部
- P-4** 回復期リハビリテーション病棟における多職種連携による
向精神薬調整について
植松 拓也 川崎こころ病院 薬剤科
- P-5** N-methyl-tetrazole thiol 基を有するセフェム系抗菌薬の投与後に
ビタミンK 欠乏性出血症が発現した1例
山口 友道 新津医療センター病院 薬剤部
- P-6** 薬局薬剤師のフィジカルアセスメント、処方提案がS-1による
手足症候群の改善に貢献したと考えられる一例
佐藤 史也 東北医科薬科大学大学院薬学研究科 薬学専攻 臨床分析化学教室
- P-7** プレガバリン服用による全身性の薬疹および肝障害が疑われた1症例
吉年 正宏 近畿大学病院 薬剤部
- P-8** 電気けいれん療法由来のタコツボ型心筋症を発症したが mECT を再開し
寛解にいたったうつ病男性患者の一例
毛塚 大 東北医科薬科大学 医学部 精神科学教室
- P-9** パーキンソン病患者におけるサフィナミドの有用性評価
安高 勇気 福岡大学 薬学部 病院薬学研究室
- P-10** 自発的副作用モニターにおける副作用発現重複評価ツール(POLSET)解析の
有用性の検討
廣田 憲威 一般社団法人 大阪ファルマプラン 社会薬学研究所

- P-11** 9価 HPV ワクチンの接種状況調査
小原 春菜 医療生協さいたま 熊谷生協病院
- P-12** 医薬品副作用データベース (JADER) を用いたサラゾスルファピリジンとメサラジンの有害事象関連性の比較
竜沢 朱里 株式会社アインファーマシーズ アイン薬局 新大久保店
- P-13** 大規模副作用データベースを用いた抗悪性腫瘍薬が誘発する味覚・嗅覚障害に関する網羅的解析
濱崎 理沙 明治薬科大学 医療分子解析学研究室
- P-14** FDA 有害事象報告システム (FAERS) を用いた抗悪性腫瘍薬誘発性口内炎の解析
加賀谷 萌乃 明治薬科大学 医療分子解析学研究室
- P-15** 医薬品副作用データベース JADER を用いた痙攣を誘発する抗菌薬の網羅的解析と発症時期に関する検討
岡田 賢二 横浜薬科大学 臨床薬剤学研究室
- P-16** 医薬品副作用データベース (JADER) を用いた薬剤性せん妄の発現時期についての検討
北崎 雅也 株式会社アインファーマシーズ アイン薬局 網走厚生病院店
- P-17** 医薬品副作用被害救済制度救済症例からみた漢方薬による重篤な副作用の変化
山田 和男 東北医科薬科大学 医学部 精神科学教室
- P-18** 関節リウマチ患者に対するメトトレキサート併用の有無による JAK 阻害薬の有効性及び安全性の検討
古林 蒼 東京理科大学 薬学部 臨床病態学研究室
- P-19** 無床診療所での関節リウマチ治療における JAK 阻害薬と生物学的製剤の有効性及び安全性の比較
松井 千純 東京理科大学 薬学部 臨床病態学研究室
- P-20** 大阪ファルマプラン副作用委員会 2022-2023 のまとめ
山本 京 一般社団法人 大阪ファルマプラン
- P-21** FAERS を用いたインクレチン関連薬と骨折リスク軽減との関連性の検討
大山 勝宏 東京薬科大学 薬学部 薬学実務実習教育センター
- P-22** 不眠時指示変更による睡眠薬使用状況調査
那須村 久恵 熊本託麻台リハビリテーション病院

- P-23** 抗悪性腫瘍薬と非抗悪性腫瘍薬における
Drug Safety Communications の特徴と意義
田中 雄介 新潟大学医歯学総合病院 薬剤部
- P-24** 大規模副作用データベースを用いたレベチラセタム誘発性の
易怒性、攻撃性副作用の調査研究
細谷 龍一郎 湘南医療大学 薬学部 臨床薬剤学研究室
- P-25** 全身作用型ジクロフェナク経皮吸収型製剤の使用状況調査
澁谷 恵美子 IHI 播磨病院 薬剤科
- P-26** 麻薬減失事故の発生原因分類と再発防止対策についての研究
富岡 謙二 山陰労災病院 薬剤部
- P-27** 部門内の安全意識を高めることでヒヤリハット発生抑制を得た一方法
西村 尚芳 鹿児島医療センター 薬剤部
- P-28** オナセムノゲンアベパルボベク投与における安全性を重視した
運用方法の構築
鷗木 亜矢子 福岡大学筑紫病院 薬剤部
- P-29** 注射用抗がん薬投与と患者における HBV 再活性化予防に向けた取り組み
柿本 秀樹 福岡大学筑紫病院 薬剤部
- P-30** 睡眠薬の適正使用に対する当院の取り組みと薬剤師の関わり
後藤 美和 福岡大学筑紫病院 薬剤部
- P-31** 入院時の持参薬における処方複雑性の年齢階層別解析
山田 楊太 福岡大学筑紫病院 薬剤部
- P-32** 腎機能低下時の薬剤の適正使用に関する調査研究
宮崎 元康 福岡大学筑紫病院 薬剤部
- P-33** 医療ビッグデータを用いたバイオシミラーのシェア率と
先行生物学的製剤からの切り替え率に関する検討
百 賢二 昭和大学 薬学部 病院薬剤学講座
- P-34** 生成 AI における医薬品情報抽出のための
中間プロンプトのフォーマットと評価
桐生 嘉浩 医療法人葵会 新潟聖籠病院 薬剤科
- P-35** メチシリン耐性ブドウ球菌によるカテーテル関連血流感染症に対して
テイコブラニン皮下投与で対応した一例
鈴木 孝司 公益財団法人 宮城厚生協会 長町病院

- P-36** 小児症例に対するシスタチン C を用いた
バンコマイシン投与量設定の有用性
萱 智史 川崎医科大学附属病院 薬剤部
- P-37** Diclofenac の胃粘膜障害リスク低減を指向した
alkalizer 含有徐放化ゲル製剤の開発
串原 忠 静岡県立大学 薬学部 薬剤学分野
- P-38** 院外処方箋における包括的事前合意プロトコル改訂とその後の効果
吹上 勇真 福岡大学筑紫病院 薬剤部
- P-39** がん細胞添加培養モデルを用いた正常細胞中の
異常細胞検出方法に関する検討
佐藤 光利 明治薬科大学 薬学部 医薬品安全性学研究室